

第1回 気候市民会議まつもと Climate Assembly Matsumoto

2024年9月7日（土）13:00～17:00

松本市立博物館 講堂

主催：気候市民会議まつもと実行委員会

参加者：無作為選出された松本市民 49名

気候市民会議とは？

➤だれが？

社会の縮図となるように無作為に選ばれた数十人～百数十人の参加者が

➤どのように？

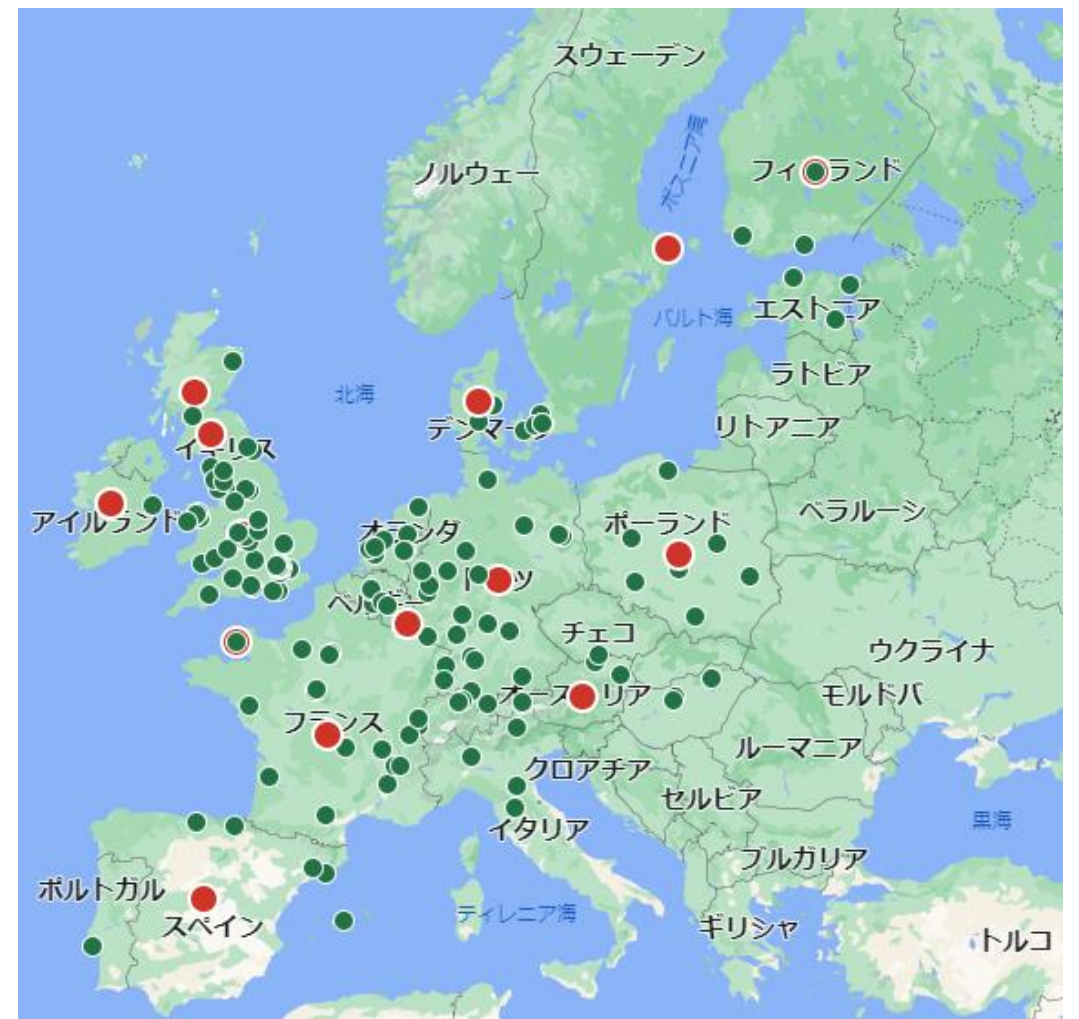
バランスのとれた情報提供を受けて、参加者主体でじっくりと議論（熟議）し

➤何をする？

議論の結果を提言などの形でとりまとめる

➤何のために？

とりまとめた結果は、脱炭素社会の実現に向けた効果的な政策・対策を生み出すために活用する



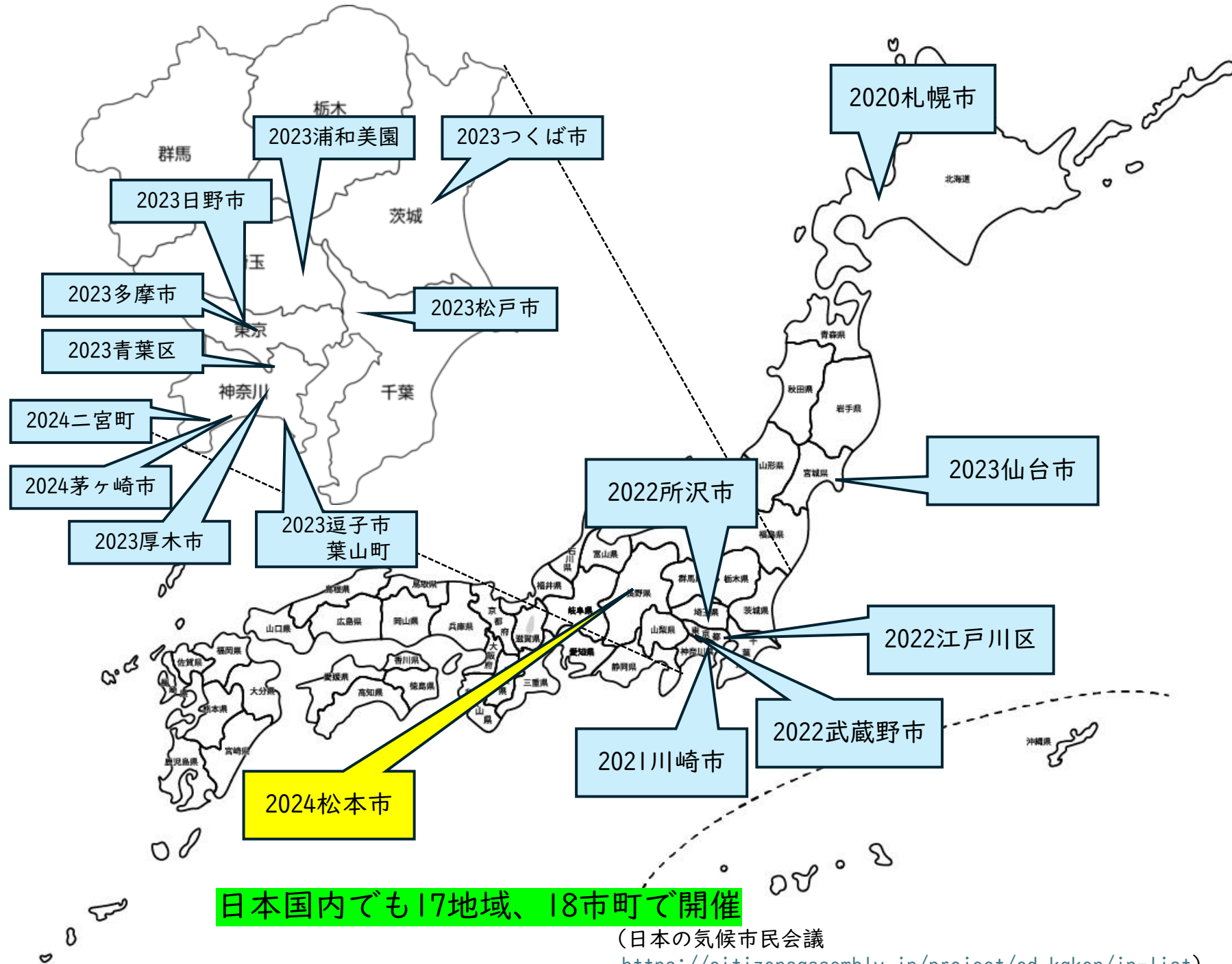
※1970年代から複雑な社会課題の解決方法を話し合う「ミニ・パブリックス」の取り組み。
※2019年以降、欧州を中心に国と自治体の双方で気候市民会議(Climate Assembly)が多数展開。

出典：KNOCAウェブサイト

<https://knoca.eu/map-of-national-assemblies/>

松本市での開催は
全国で18例目
(19自治体目)

- ①長野県で初めて
- ②関東圏＋政令指定市
以外では初めて
- ③日本で最も西での開催
- ④日本で最も高い開催地



なぜ気候市民会議なのか？

地域課題解決と合わせた具体的取り組みの例

※私の各地での実践・学びから

- 市民や事業者の行動変容を起こすには、個人的、局所的な取り組みでは不十分。政策などの社会的な取り組みが必要。
- 排出削減に効果がある政策、取り組みはある程度明確。が、松本市や各地域には特性があり、解決方法は複雑。
- 異なる背景や経験を持つ多様な市民が集まり、問題について知り、ともに考え、話し合うことで、実効性のある対策が生まれる。

①福祉×ゼロカーボン

(社会的弱者にこそ高断熱、再エネを届けたい)

②移住・高齢者・子育て×ゼロカーボン

(移住者、高齢者、子育て世代が安心できる地域でありたい)

③学び舎×ゼロカーボン

(幼保小中高大学は地域の断熱文化発信拠点として最適)

④住宅建築×ゼロカーボン

(地元業者が施工技術を持てばビジネスに付加価値)

地域内経済循環のための
再エネ大量導入

誰もが安心して暮らせる、
働ける、学べる建物

誰も取り残さない
脱炭素社会へ。
県民や企業との
ラストワンマイルを
埋めていきたい。

⑤地域づくり×ゼロカーボン

(「集落点検」にゼロカーボンの視点を加味すれば新たな発見が)

⑥公共施設×ゼロカーボン

(皆が集う拠点こそサステナブルにシフトしよう)

⑦都市計画・公共交通×ゼロカーボン

(ショートウェイシティの実現に欠かせない本質的課題)

⑧まちづくり・防災×ゼロカーボン

(地域熱供給などこれからの都市基盤整備)

⑨全ての屋根に太陽光を

(PPAや自家消費で太陽光=インフラの時代へ)

⑩サプライチェーンの隅々まで

(ティアの末端まで追加性のある再エネ投資を)

⑪DX×ゼロカーボン

(V2X、VPPなどのDX技術で暮らしをより便利に)

⑫地域内経済循環×ゼロカーボン

(地域新電力で資源経済を私たちの手に取り戻す)

⑬耕作放棄地・寒冷地×ゼロカーボン

(再エネは地域課題解決との合わせ技で導入すれば美味)

地元産業が持続できる
脱炭素経営へのシフト

⑭商工会・商工会議所×ゼロカーボン

(中小零細企業の脱炭素経営を地域を挙げて支援したい)

⑮企業パートナーシップ×ゼロカーボン

(オフィス町内会的な取り組みも効果大きい)

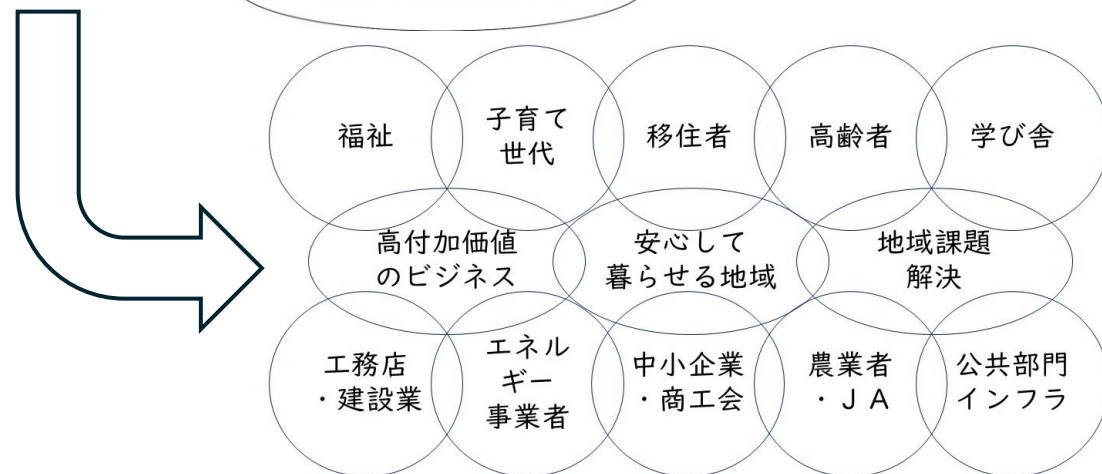
⑯産業政策×ゼロカーボン

(ゼロエミッション産業団地を実現したい)

⑰新価値創出×ゼロカーボン

(RE100リゾート、RE100農業などの可能性)

持続可能なコミュニティ



(右図は茅野作成)

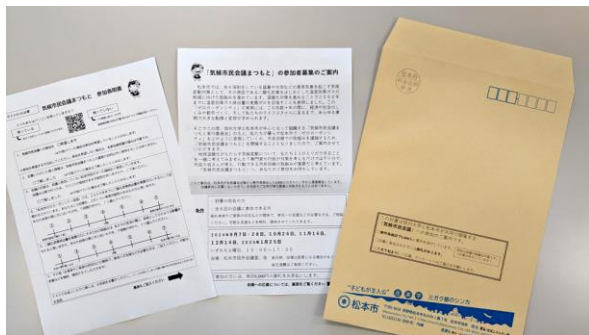
脱炭素社会づくりは、持続可能なまちづくりだ！

気候区民会議が生み出している効果

- **【フランス】** 2019～20年に政府が主催した気候市民会議の提言に基づき、近距離の飛行機の国内線の段階的整理や、商品やサービスの温室効果ガス排出量の表示の義務付けなどを含む**新たな法律が制定**され、すでにその一部が施行されている。
- **【英国】** 2020年に議会が気候市民会議を主催。結果は、**議会での気候変動対策の議論に活用**された。
- **【埼玉県所沢市】** 市が公式に行った気候市民会議の結果が、同市の**環境基本計画の改定に反映**された。
- **【神奈川県厚木市】** 市民団体と行政が協力して気候市民会議を開催。得られた**アクションプランを実行に移す、市民主導の「未来プロジェクト」**が始まっている。
- **【茨城県つくば市】** 市や研究機関が協働で開催した気候市民会議が作成した提言について、**市長が74項目すべてに対応することを約束**。市の**温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定が1年前倒し**に。

気候市民会議まつもと (Climate Assembly Matsumoto, CAM)

松本市のゼロカーボンシティ実現へ向けた取り組みをさらに進展させるため、市民自らが行動すべき事柄を検討し、アクションプランとしてまとめ、松本市民および松本市へ提言することを目的として開催します。



松本市民
16歳～74歳の方

5000名

無作為抽出



参加表明
をくださった方

274名

約5.5%の方々



選出者

年齢層、性別、居住地域の
バランスを考慮して抽選

50名

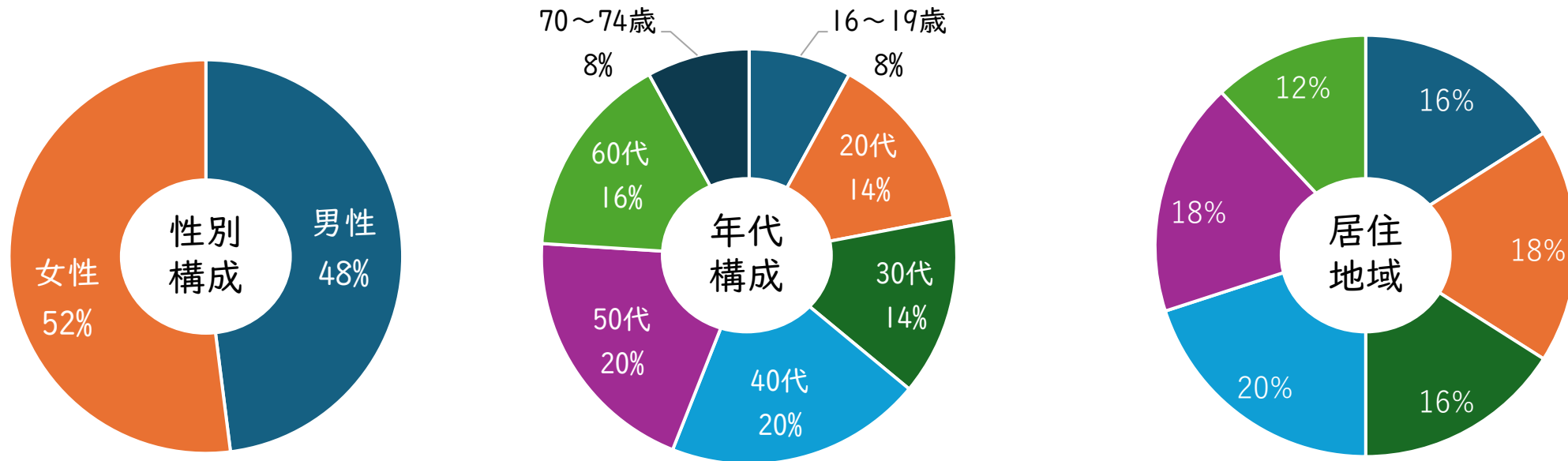


抽選結果通知
最終意思確認

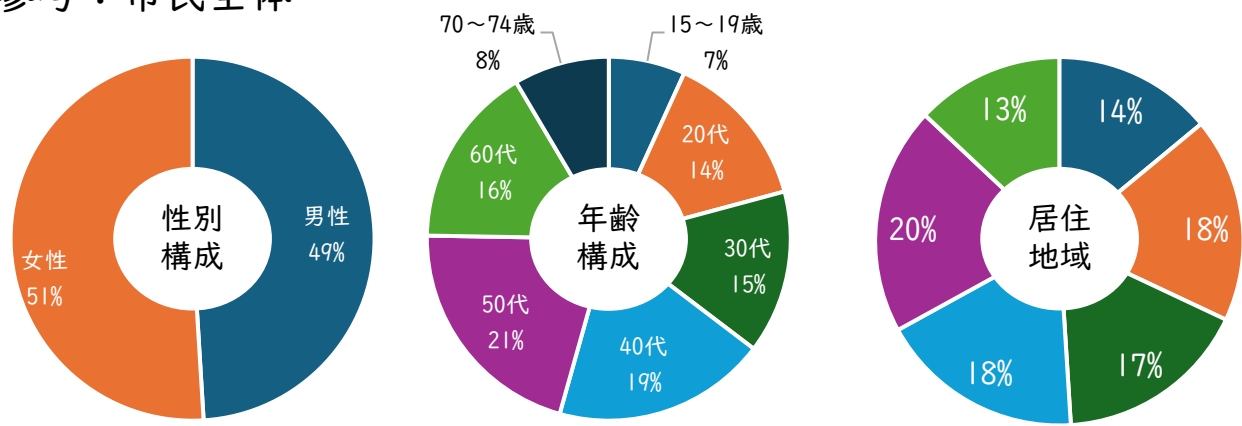
参加者 49名



参加者の皆さんはどんな方々？



参考：市民全体

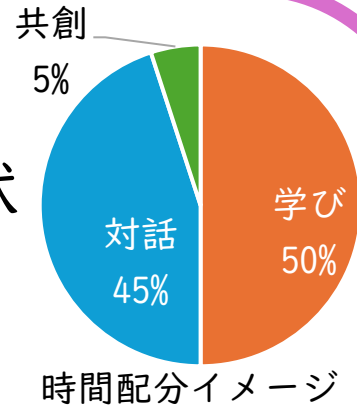


- 深志中・北（第一、第二、第三、東部、中央、城北、安原、城東、白板）
- 深志南（田川、庄内、鎌田、松南）
- 東山部（岡田、入山辺、里山辺、本郷、四賀）
- 南部（中山、芳川、寿、寿台、内田、松原）
- 河西部（島内、島立、新村、和田、神林、笹賀、今井）
- 西部ブロック（安曇、奈川、梓川、波田）

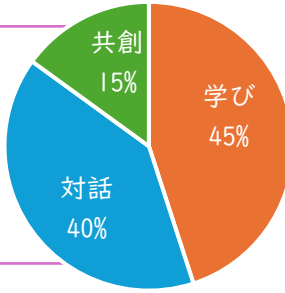
本日～今後の流れ

9月7日（土）
第1回
テーマ：気候変動の現状

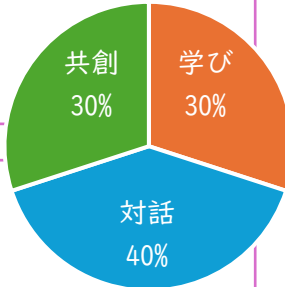
情報提供者：
江守正多さん
（東京大学未来ビジョン研究センター教授）
浜田崇さん
（長野県環境保全研究所自然環境部主任研究員）



9月28日（土）第2回
テーマ：気候変動対策の取り組み
情報提供者：松本市、長野県、信州大学（予定）

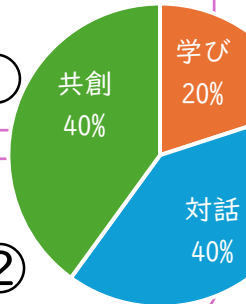


10月26日（土）第3回
テーマ：気候変動対策の検討①
情報提供者：第2回までの議論を受けて調整



11月16日（土）第4回
テーマ：気候変動対策の検討②
情報提供者：第3回までの議論を受けて調整

12月14日（土）第5回
テーマ：市民アクションプランの検討①
2025年1月25日（土）第6回
テーマ：市民アクションプランの検討②



2025年3月頃
気候市民会議まつもと 報告会

